

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 寒冷負荷の解明とモデル化による高血圧予見医学への挑戦
2. 研究代表者： 海塩 渉（東京科学大学 環境・社会理工学院 建築学系 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、寒い住宅への長期居住による血管へのダメージの蓄積の影響を解明し、寒冷による血圧変動を予測するヒト循環器系の工学モデルを開発することで、高血圧の予見医学の実現を目指す研究である。

フェーズ 1 では、住環境と健康指標との関係を調査する相当規模のフィールドを確保し、前向きコホート研究ができる環境を整備できた点、および、寒冷負荷と加齢に伴う血圧との関係を明らかにした点が評価できる。

フェーズ 2 では、交絡因子の影響をできるだけ抑制して寒冷（寒暖差）曝露の影響を証明し、ライフタイムヘルスケア建築を確立することを期待する。

以上